

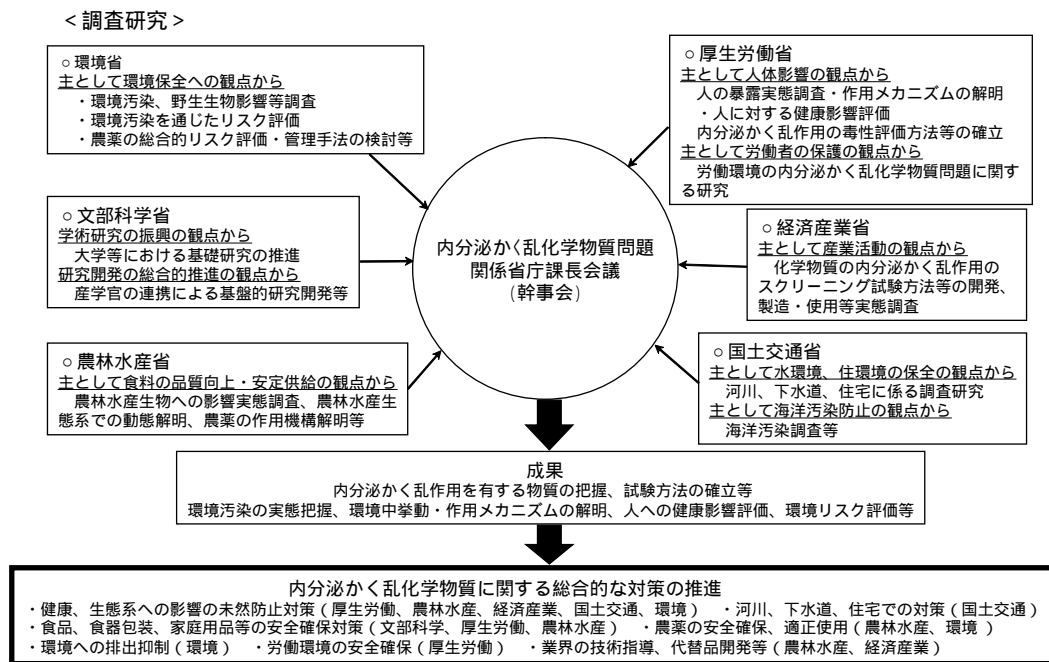


図 11 各省庁の役割

リスクコミュニケーションについて

）リスクコミュニケーションの一般的な重要性

平成16年版環境白書によれば、「リスクコミュニケーションとは持続可能な社会構築に向けて、個人、行政、企業、民間非営利団体といった各主体間のパートナーシップを確立するために、環境負荷や環境保全活動等に関する情報を一方的に提供するだけでなく、利害関係者の意見を聞き討議することにより、お互いの理解と納得を深めていくこと」とされている。

化学物質の中には、人の健康や生態系への影響が科学的に十分解明されていないものが数多くある。被害が発生してからの後追いの規制では被害を未然に防止することはできない。

しかし、化学物質は、利便性を向上させ、快適で豊かな日常生活をもたらしている。私たちの身の回りには多種多様な化学物質が使用され、もはや我々の生活には欠かせないものともなっており、根拠が十分でなく、より安全であることが明らかな代替物や対応策が確定していないものについて、

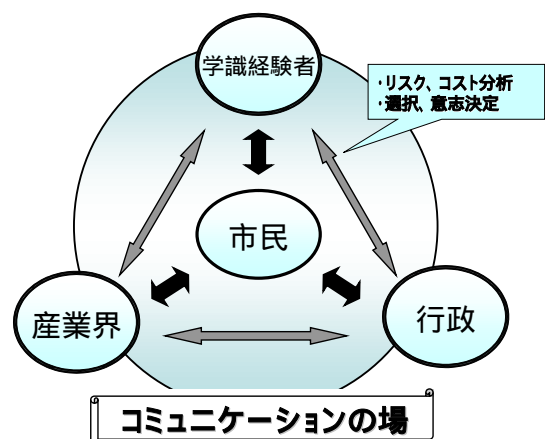


図 12 リスクコミュニケーションの概念図